

# ふれあい放水路

お知らせ

## 放流警報設備工事を進めています

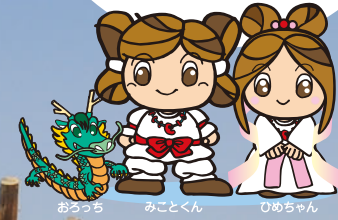
### 工事の進捗 境橋付近 下水道の移設工事

特集 歴史から防災を学ぶ  
製鉄と天井川

2011 平成23年  
ふれあい放水路

vol.195

Izumo Office of River  
Chugoku Regional  
Development Bureau



### 斐伊川水防演習

6月4日(土)に斐伊川の河川敷で水防演習を行いました。出水期を前に、洪水時に災害を未然に防ぎ、また被害を最小限に抑えるために、水防専門家や防災エキスパートの指導のもと本番さながらの訓練を行いました。

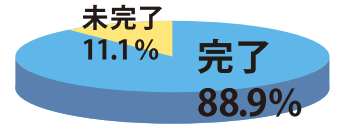
お知らせ

431

## 境橋付近 下水道の移設工事の進捗状況

平成22年7月に工事着手した下水道の移設工事は、神戸川の下を横断する新設の下水道管の敷設が完了し、現在は管内の照明設備・配線・その他の設備を回収しながら管内面の仕上げを行っています。今後は必要なくなった既設の下水道管をふさいだり、立坑を埋め戻す作業など、平成24年2月の完成に向け工事を進めていきます。(島根県施工)

下水道の  
移設工事の  
進捗  
(平成23年7月末時点)



現場担当者にうかがいました



現場ではどのような点に気を付けているのですか？

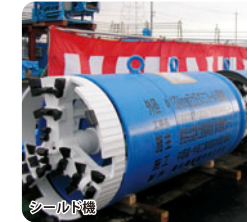
工事の箇所は、周りに住宅が多いため、現場には防音ハウスを設置して、騒音防止に配慮しながら作業を行っています。防音対策を講じることで、昼間だけでなく夜間も掘削作業を行うことができるようになり、工事はスムーズかつ順調に進み、7月11日には新しい下水道管を無事に貫通させることができました。



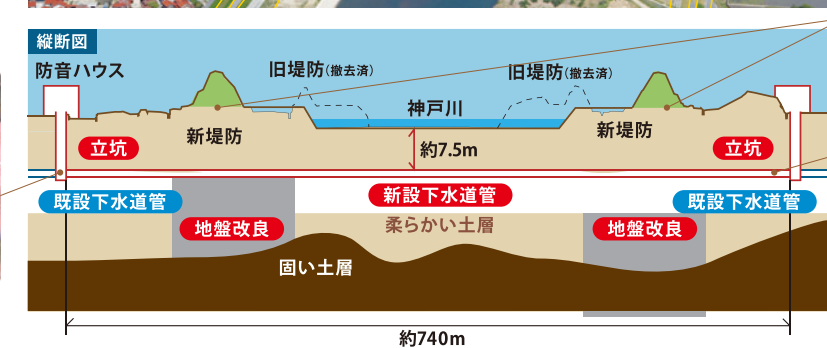
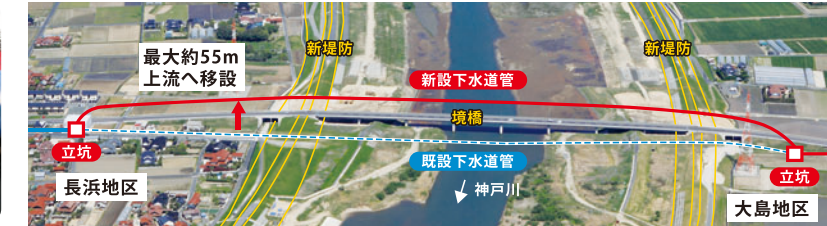
株式会社中筋組  
小村 隆志さん

**目的** 既設下水道管は柔らかい土の層を通過していたため、新しい堤防を設置するにあたり、その重みに耐えられず破損する恐れがありました。そこで地盤改良を行なってから、新たに下水道管を敷設しました。

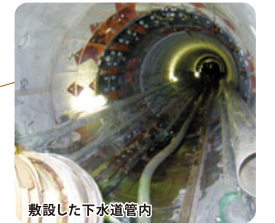
### 〈工事の概要〉



先端の切歯で“もぐら”のように土を掘っていきます。



軟弱地盤であるため下水道管の沈下を防ぐために基礎となる杭を設置します。



長さ約740mの下水道管は神戸川の下を通ります。

### 工事の発注情報

●斐伊川放水路神戸川下流用地整備工事	H23.6.14~H23.11.30 (株)土井豆組	●斐伊川放水路分流堰管理橋床版工事	H23.8.11~H24.3.30 (株)カザケン
●斐伊川放水路新宮川整備外工事	H23.8.20~H23.8.31 (株)都岡土建	●斐伊川放水路大津地区堤防整備外工事	H23.7.22~H24.3.30 (株)フクダ
●斐伊川放水路局舎基礎外工事	H23.8.10~H23.12.26 (有)谷本建設工業	●斐伊川水系放流警報局舎設置工事	H23.6.24~H24.3.30 大亜工業(株)
●斐伊川放水路滝谷地区河床整備工事	H23.7.5~H24.3.31 (株)伏光組	●斐伊川放水路分流堰放流警報設備工事	H23.7.9~H24.3.30 (株)有電社
●斐伊川放水路菅沢地区河床整備外工事	H23.8.8~H24.3.30 (株)大福工業	●斐伊川放水路分流堰放流制御設備工事	H23.7.15~H24.3.30 (株)東芝
●斐伊川放水路残土処理場整備外工事	H23.7.30~H24.3.30 (株)大福工業	●斐伊川放水路分流堰電源設備工事	H23.3.16~H24.2.28 (株)明電舎
●斐伊川放水路工事用道路整備外工事	H23.6.30~H23.12.28 (株)浜村建設	●出雲管内反射板外設置工事	H23.7.21~H24.3.30 大亜工業(株)



### 国土交通省中国地方整備局 出雲河川事務所

〒693-0023 出雲市塩冶有原町5-1 tel (0853) 21-1850 / fax (0853) 22-7829  
E-mail : izumo@cgr.mlit.go.jp ホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/>

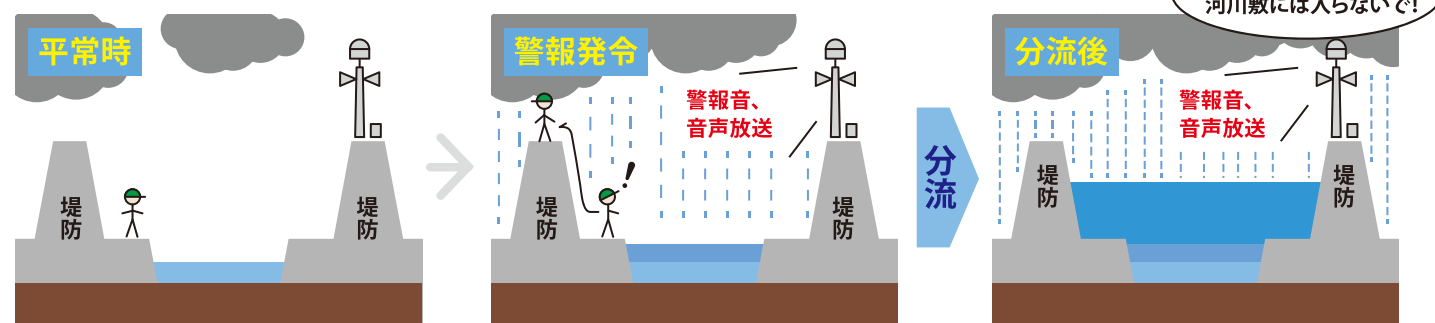
# 放流警報設備工事を進めています



## 放流警報とは？

斐伊川は、大雨などによる洪水のときに、洪水の一部を放水路から神戸川に分流することで、未然に洪水による被害を防ぎます。

放流警報とは、分流・放流により放水路および神戸川の水位が上昇するため、分流・放流を行う前に、河川敷にいる方には直ちに河川敷から出ていただくように、河川敷へ立ち入ろうとしている方には河川敷に入らないように、警報音や音声放送による警告を行うものです。



### ■今後の工事予定

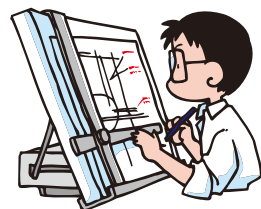
工事はおおよそ下記の予定で進めます。警報局舎設置のために道路規制を実施したり、スピーカーにて試験放送を行うなど、周辺のみなさまにはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をなにとぞよろしくお願いいたします。

※下記の情報は予定のため、現場状況などにより変更する場合があります。

#### 1 局舎、警報設備の製作

(現在～平成23年12月)

製作は工場で行い、警報制御に必要なプログラムなどの設計や動作確認の試験後に、現場に出荷します。



#### 2 局舎、警報設備の設置

(平成23年10月～平成24年3月)

現場での設置作業に伴い、道路規制を行う場合があります。道路規制については、詳細が決まり次第、ご報告いたします。



#### 3 設置完了 (平成24年3月)



この警報局が知らせてくれます。



## 放流警報が発令されたら、どうしたらいいの？

河川敷にいる方は直ちに河川敷から出てください。河川敷へ立ち入ろうとしている方は河川敷に入らないでください。分流を開始する1時間前から河川巡視による呼びかけを行い、10分前から警報局より警報音・音声放送などによる警告を行います。



## これらの方法により、河川敷の方々へお知らせします



### ■警報音

下記の間隔で「ワンウワン」という警報音を鳴らし警告します。  
警報音 (30秒) → 休止 (6秒) → 警報音 (15秒) → 休止 (10秒)

### ■音声放送

増水予告の呼びかけ例  
『こちらは、国土交通省出雲河川事務所です。(大雨のため、分流堰から放流することが予想されます。川の水位が上がり危険ですので、川の中にいる人は川からすぐに出てください。また、川の中には入らないでください。) 繰り返します。※以下 ( ) 内メッセージ1回』

### ■回転灯



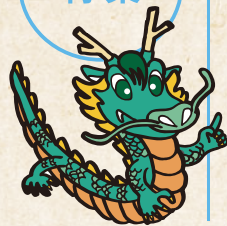
### ■河川巡視



巡視を行い、水位上昇についての注意を呼びかけます。

歴史から  
防災を学ぶ

### 特集



## 製鉄と天井川

### 製鉄によって屈指のハイテク地域だった斐伊川流域

神話の時代から斐伊川上流では、「たたら製鉄」により製鉄業が盛んに行われてきました。当時、製鉄業はハイテク技術であり、鉄製の鋤や鋤、刀剣などの製造技術を持った斐伊川上流部はハイテク地域として栄えました。

土砂を水とともに流すことで、比重の重い砂鉄を集める「鉄穴流し」という方法をとっていたため、大量の土砂が下流に流れることになりました。また大量の木炭を作るため木を伐採することで、山が崩れ、その土砂もまた下流に流れました。

### 「鉄穴流し」による、頻繁な洪水



約300年間で出雲ドーム530個分(約2億5260万m<sup>3</sup>)の土砂が下流に流され堆積することで、斐伊川下流の河床は周囲の土地よりも高い天井川となり、洪水が頻繁に起こるようになりました。「ヤマタノオロチ神話」も古来よりたびたび起こる洪水から生まれたともいわれています。

※出典：建設省出雲工事事務所の『斐伊川誌』より

### 典型的な天井川(斐伊川本川の地形的特徴)

天井川である斐伊川がひとたび氾濫すると、その被害は出雲平野一帯に広がります。



※天井川：砂の堆積により河床が周辺の土地よりも高くなった川のことです。